

令和5年度特定設備事故届出状況（エレベーター）

番号	事故発生日	事故の種類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	4/24	扉に挟まれた	先に乗車した利用客が、誤って閉じるボタンを押していたため、後から続いて乗車しようとした利用客が乗り込む前に扉が閉まろうとし、閉まる戸を腕で止めようとしたが、扉の力に耐えられず腕が挟まった。	その他	65歳以上	1	右腕骨折、左腕皮めくれ	入院不要	対象エレベーターの乗車側の扉に指詰注意ステッカーの貼り付けを行った。 開閉ボタンシールの貼り替えを行った。
2	5/11	扉に挟まれた	扉が半分しか開かない状態であった為、無理に出ようとした際、扉が閉まる方向に回転。	共同住宅	20～64歳	1	打撲	入院不要	<ul style="list-style-type: none"> ・応急的に浮き上がりが酷い箇所は、平滑になるように修正。 ・1階扉の吊り込みを調整し、扉と敷居との間に隙間を確保し正常に動作することを確認。 ・所有者にて、躯体との取り合い調整の上、敷居取替により改善予定。
3	7/25	扉に挟まれた	乗車しようとしたが、押ボタンが押せていなかったため、扉に挟まれ後方に転倒。	百貨店	65歳以上	1	不明	不明	危害防止装置設置の検討を行う。
4	8/17	扉に巻き込まれた	降車の際に閉まりかける扉に杖が引っ掛かり転倒。	飲食店	65歳以上	1	腰打撲	入院不要	新たに対策を講じる予定はない。
5	1/24	扉に挟まれた	エレベーターに乗車する際に、転倒して扉に指を挟んだ。	マーケット	5歳以下	1	打撲・かすり傷	入院不要	保守業者による点検も全て正常に作動しているため、新たに対策を講じる予定はない。